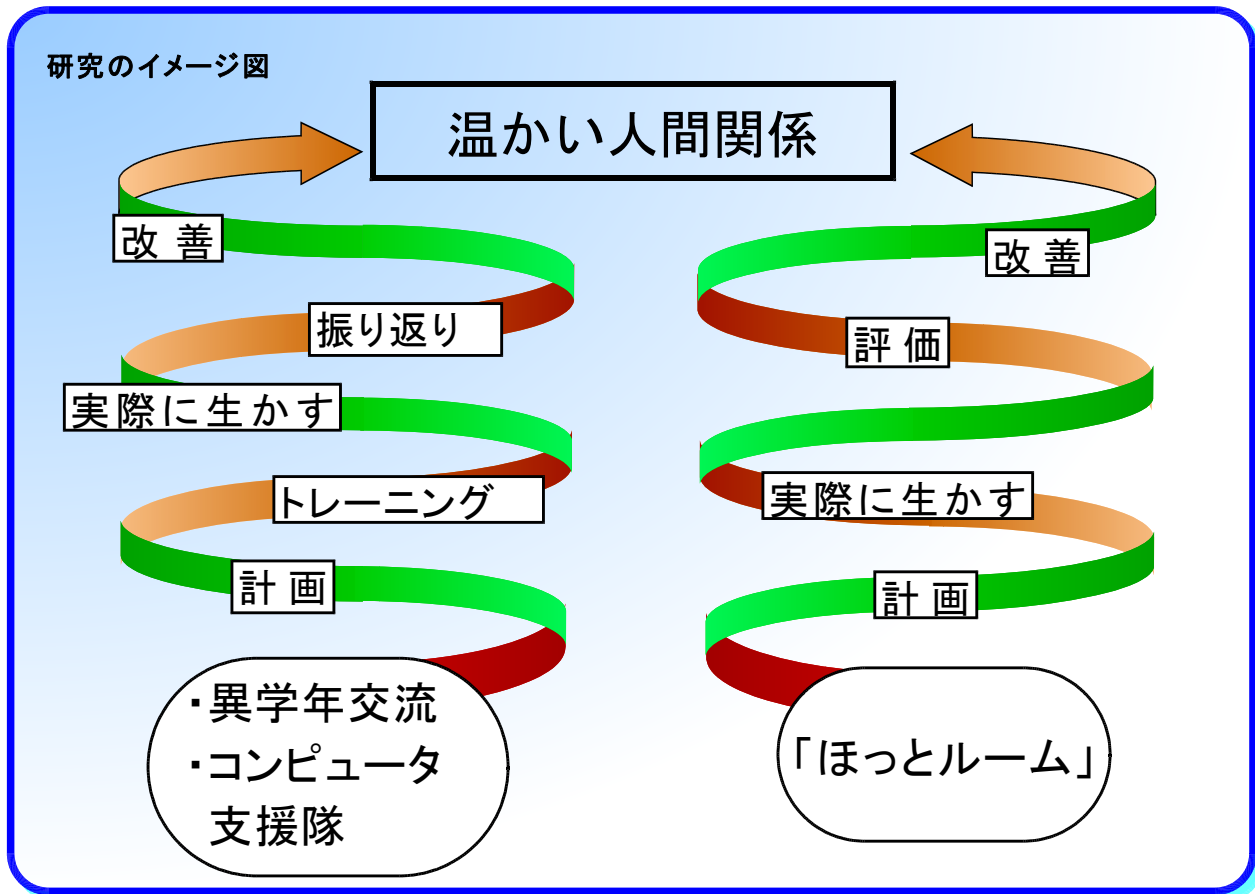


楽しい学校づくりを目指して



前橋市立滝窪小学校 神村 武志

「ほっとルーム」や異学年交流を工夫することにより、温かい人間関係を築き、楽しい学校づくりを目指すことができる。



異学年交流



サツマイモ苗植え



縦割り班遊び

サツマイモ栽培・縦割り班遊びの際、上級生が、下級生にどのように接すれば、より一層理解してもらえるか、仲良く活動できるかを体験し考える事前スキルトレーニングを行った。また、交流後に振り返る場を設定した。スキルを繰り返し行っていく中で、下級生のみならず、周囲の人々に対する思いやり、やさしさ、協調性なども身に付けることができた。

コンピュータ支援隊



コンピュータ支援隊

6年生の希望者がコンピュータチューターとなり、下級生にサポート活動を行った。1年生から、「お姉ちゃん教えて」と頼まれたり、「ありがとう、また教えてね」と感謝の言葉を掛けられ、にこやかに支援活動に取り組むことができていた。

「ほっとルーム」

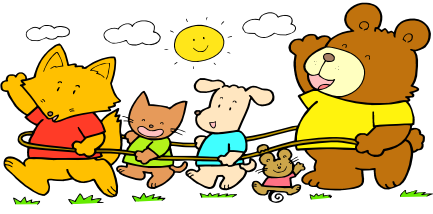
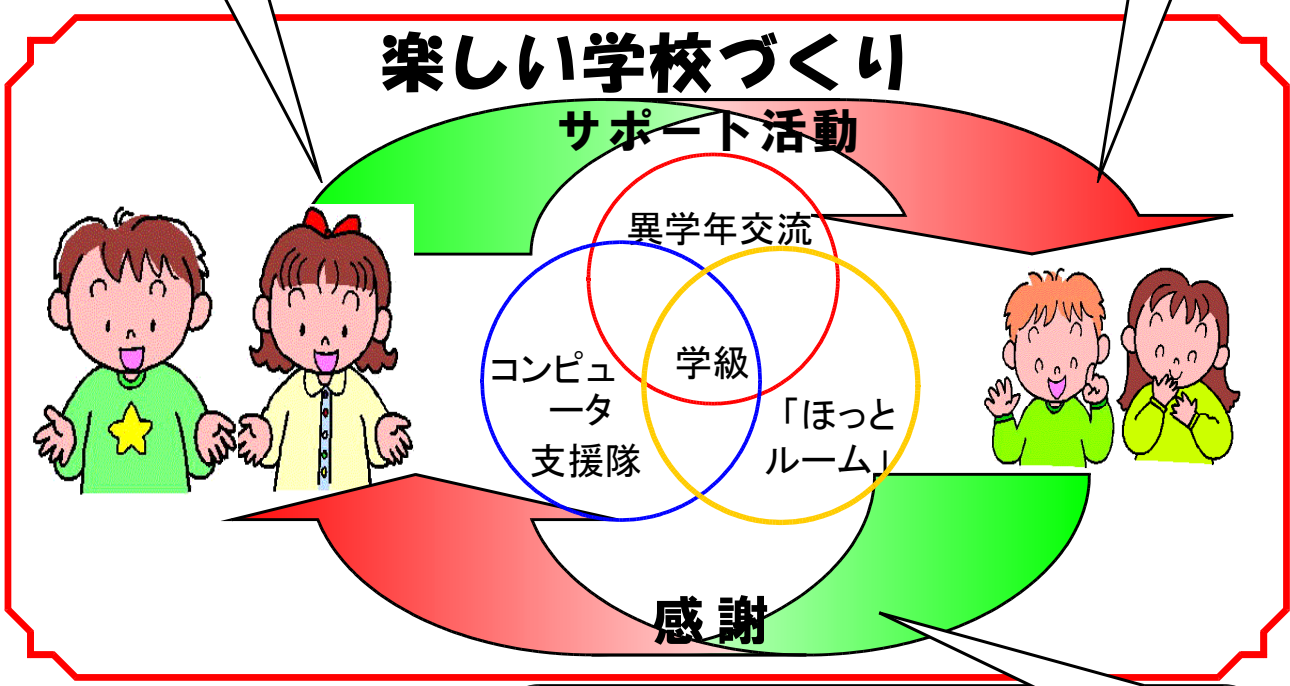


「ほっとルーム」

自由に入室できるような雰囲気作りをした。最初から規則を作るのではなく、児童の使用状況を見守りながら、金魚・観葉植物・こたつ・ゲーム・パペット(手人形)・色えんぴつなどの備品を購入して、ほっとできる空間の確保・人間関係作りをする場の確保をした。最初のうちは、トラブルも発生したが、教師による指導・児童の変容を経てからは、異学年同士で仲良く遊んでいる姿が良く見られるようになった。

様々な活動を通して、より多くの高学年児童が、周りの人のことを意識して行動できるようになってきた。

「ほっとルーム」のみならず、校庭でも異学年で仲良く遊んでいる様子もよく見かけるようになった。



「6年生に教えてもらってうれしかった」など、感謝の気持ちが高学年児童にも伝わり、高学年児童が、より一層サポート活動に熱心に取り組むことができた。

